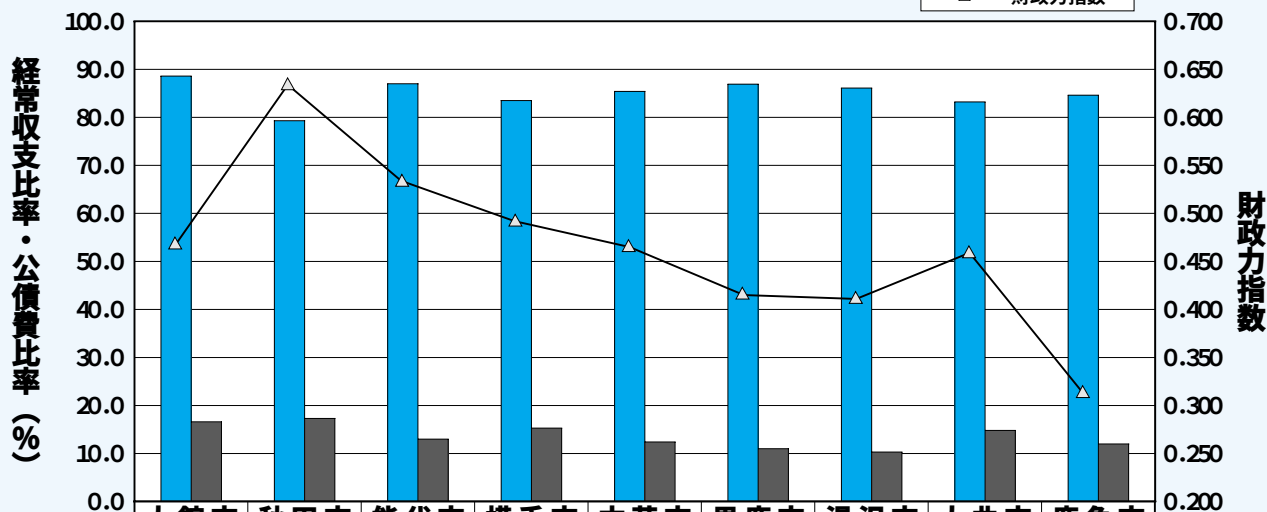


県内各市の財政指標(平成13年度決算)

■ 経常収支比率
■ 公債費比率
—△— 財政力指数



	大館市	秋田市	能代市	横手市	本荘市	男鹿市	湯沢市	大曲市	鹿角市
経常収支比率	88.6	79.3	87.0	83.5	85.4	86.9	86.1	83.2	84.6
公債費比率	16.6	17.3	13.0	15.3	12.4	11.0	10.3	14.8	12.0
財政力指数	0.477	0.645	0.542	0.500	0.476	0.426	0.420	0.470	0.325

経常収支比率

(県内の市の平均: 85.0%)

人件費、扶助費、公債費など義務的経費に、市税や地方交付税などの一般財源がどのくらい支出されているかを示したものの。その比率が低いほど弾力的な財政運営ができ、市では80%程度が妥当とされている。

公債費比率

(県内の市の平均: 13.6%)

平均的な水準で行政を行った場合の歳入規模に対する公債費(過去に借りた借金の返済金)の割合で、借入額の妥当性、財政の弾力性を見る指標。低いほど財政に弾力性がある。

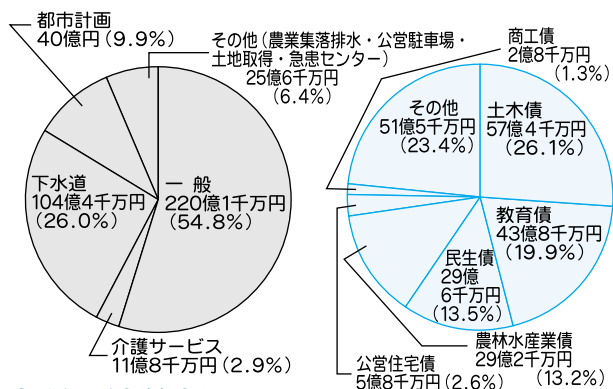
財政力指数

(県内の市の平均: 0.476)

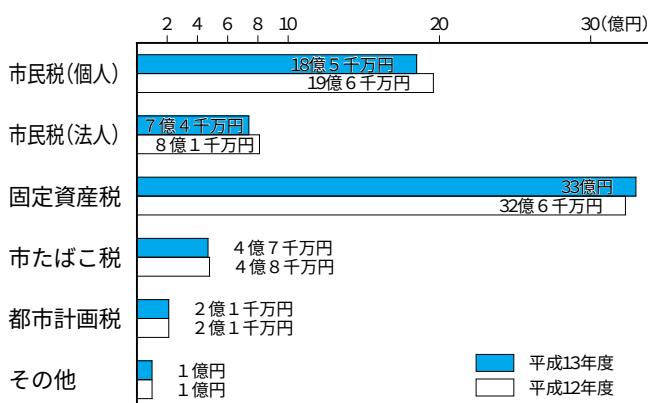
平均的な水準で行政を行った場合に要する経費に対する自主財源(市税など)の割合を示したものの。「1」に近い「1」を超えるほど財源に余裕があり、数値が低いほど国からの地方交付税に依存しているとされている。

市債の状況(平成14年5月31日現在)

- 借入金残高(一般・特別会計) (401億9千万円)
- 一般会計の目的別残高 (220億1千万円)

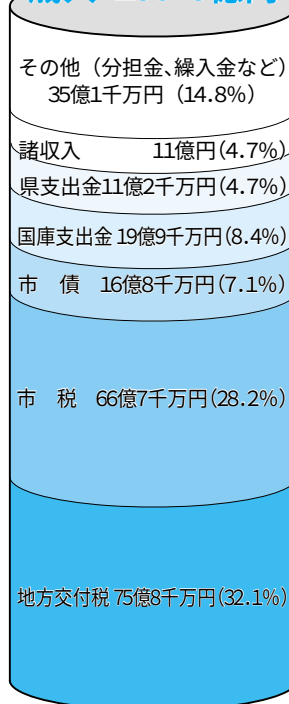


市税の決算額

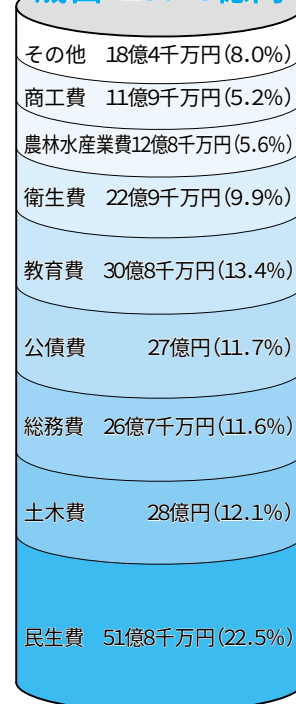


一般会計の決算内訳

歳入 236.5億円



歳出 230.3億円



平成13年度一般会計の総額は前年度と比べて歳入が2億2千万円、歳出が2億6千万円減少しました。歳入は地方交付税と市税が減ったため、歳出はコンポストセンターの建設や松木(踏切)地下道などの事業終了にともない支出が減ったためです。